

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

第1回臨時会  
東京都台東区議会会議録  
〈第8号 令和8年7月14日（火）〉

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

令和8年  
第1回臨時会  
東京都台東区議会会議録（第8号）

○7月14日（火）（以下敬称略）

出席議員（29名）

|     |       |     |       |
|-----|-------|-----|-------|
| 1番  | 石原喬子  | 2番  | 大浦美鈴  |
| 3番  | 拝野健   | 4番  | 弓矢潤   |
| 5番  | 大貫はなこ | 6番  | 中村謙治郎 |
| 7番  | 吉岡誠司  | 8番  | 高橋えりか |
| 9番  | 鈴木昇   | 10番 | 岡田勇一郎 |
| 11番 | 田中宏篤  | 12番 | 松村智成  |
| 13番 | 中澤史夫  | 14番 | 青鹿公男  |
| 15番 | 本目さよ  | 16番 | 村上浩一郎 |
| 17番 | 風澤純子  | 18番 | 伊藤延子  |
| 21番 | 松尾伸子  | 22番 | 寺田晃   |
| 23番 | 早川太郎  | 24番 | 富永龍司  |
| 25番 | 中嶋恵   | 26番 | 秋間洋   |
| 27番 | 高森喜美子 | 28番 | 石塚猛   |
| 29番 | 太田雅久  | 30番 | 小坂義久  |
| 31番 | 青柳雅之  |     |       |

欠席議員（1名）

19番 望月元美

欠員（2名）

20番 32番

出席説明員

|   |   |      |     |   |   |      |      |
|---|---|------|-----|---|---|------|------|
| 区 | 長 | 服部征夫 | 副   | 区 | 長 | 野村武治 |      |
| 副 | 区 | 長    | 梶靖彦 | 教 | 育 | 長    | 佐藤徳久 |

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

|             |         |                          |         |
|-------------|---------|--------------------------|---------|
| 技 監         | 赤 星 健太郎 | 企 画 財 政 部 長              | 関 井 隆 人 |
| 総 務 部 長     | 小 川 信 彦 | 区 民 部 長                  | 内 田 円   |
| こども家庭部長     | 前 田 幹 生 | 文化産業観光部長                 | 杉 光 邦 彦 |
| 福 祉 部 長     | 三 瓶 共 洋 | 健 康 部 長<br>兼 台 東 保 健 所 長 | 水 田 渉 子 |
| 環 境 清 掃 部 長 | 遠 藤 成 之 | 都 市 づ くり 部 長             | 寺 田 茂   |
| 会 計 管 理 室 長 | 上 野 守 代 | 教 育 委 員 会 長<br>事 務 局 次 長 | 佐々木 洋 人 |
| 企 画 課 長     | 川 田 崇 彰 | 財 政 課 長                  | 高 橋 由 佳 |
| 区 長 室 長     | 浦 里 健太郎 | 総 務 課 長                  | 福 田 健 一 |

---

区議会事務局

|             |         |           |         |
|-------------|---------|-----------|---------|
| 事 務 局 長     | 鈴 木 慎 也 | 事 務 局 次 長 | 久木田 太 郎 |
| 議 事 調 査 係 長 | 吉 田 裕 麻 | 書 記       | 関 口 弘 一 |
| 書 記         | 塚 本 隆 二 | 書 記       | 岡 崎 一 生 |
| 書 記         | 遠 藤 花 菜 | 書 記       | 大 谷 彩 季 |
| 書 記         | 堀 真佑夏   |           |         |

---

議事日程

日程第 1 会期について

日程第 2 議員提出第 3 号議案 台東区議会議長石川義弘さんの死去に伴う弔詞議決について

追加議事日程

追加日程第 1 弔詞文起草委員会報告書

---

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

午後 2時00分 開議

○副議長（岡田勇一郎さん） 副議長の岡田勇一郎でございます。地方自治法第106条第1項の規定により、副議長の私が議長の職務を行います。

ただいまから、令和8年第1回台東区議会臨時会を開会いたします。

これより本日の会議を開きます。

あらかじめ会議時間の延長をいたしておきます。

会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第136条の規定により、

6番 中村 謙治郎 さん

7番 吉岡 誠司 さん

をご指名いたします。

---

○副議長（岡田勇一郎さん） 会議の冒頭に当たりまして、去る7月8日にご逝去されました台東区議会議長、石川義弘さんのご冥福を祈り、黙祷をささげたいと思います。

ご起立をお願いいたします。

（総員起立）

○副議長（岡田勇一郎さん） 黙祷。

黙祷を終わります。

ご着席願います。

（総員着席）

---

○副議長（岡田勇一郎さん） 事務局長に諸般の報告をさせます。

なお、報告について、既に書類をもって送付しておりますので、内容等の朗読は省略いたします。

（鈴木事務局長報告）

---

○副議長（岡田勇一郎さん） これより区長から追悼の言葉があります。

区長。

○区長（服部征夫さん） 台東区議会、石川義弘議長のご逝去に謹んで哀悼の意を申し上げます。

私はこのたびの石川議長の突然の悲報に、ただただ言葉を失い、しばし我を忘れるほどで

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

した。石川議長は亡くなられる前日まで変わることなく職務に精励され、区民のため、区政進展に並々ならぬご尽力をされました。常に公務をご一緒させていただいていただけない、あまりにも突然の別れは受け入れ難い現実であり、かけがえのない存在を失った深い喪失感を禁じ得ません。

石川議長は平成19年に行われた台東区議会議員選挙において見事当選され、5期19年の長きにわたり副議長、常任委員会委員長、特別委員会委員長など数多くの要職を歴任されました。令和7年5月からは第66代議長に就任され、優れた識見と温かな人柄で区議会の先頭に立ち、数々の区政課題解決に向け、多大なるご貢献をいただきました。石川議長とは、世界遺産登録の推進や浅草まちづくりなど、共に手を携えながら区政運営に取り組んでいただけない、大きな柱をなくし、実に痛惜の極みです。

私は、石川議長のご功績と区政に対する熱い情熱を胸に、区議会の皆様と共に区政進展に向け、全力を尽くしてまいります。ここに区民の皆様と共に、故人の優れた業績をたたえ、生前の面影をしのびつつ、心からの感謝と敬意をささげますとともに、泉下の平安をお祈りし、追悼の言葉といたします。

○副議長（岡田勇一郎さん） 以上で区長からの追悼の言葉は終了いたしました。

---

○副議長（岡田勇一郎さん） これより日程に入ります。

日程第1、会期についてを議題といたします。

おはかりいたします。

本臨時会の会期については、本日1日といたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（岡田勇一郎さん） ご異議ないと認めます。よって、会期については、本日1日と決定いたしました。

---

○副議長（岡田勇一郎さん） 日程第2を議題といたします。

なお、日程朗読のうち、提出者につきましては全議員でありますので、氏名の朗読は省略いたします。

（鈴木事務局長朗読）

日程第2 議員提出第3号議案 台東区議会議長石川義弘さんの死去に伴う弔詞議決について

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

○副議長（岡田勇一郎さん） おはかりいたします。

本案については、提案理由の説明を省略することとし、８名の委員をもって構成する弔詞文起草委員会を設置し、弔詞文の起草に当たらせたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（岡田勇一郎さん） ご異議ないと認めます。よって、８名の委員をもって構成する弔詞文起草委員会を設置し、弔詞文の起草に当たらせることに決定いたしました。

ただいま設置されました弔詞文起草委員会の委員の選任については、委員会条例第４条第１項の規定により、私よりご指名申し上げます。

事務局長に朗読させます。

（鈴木事務局長朗読）

弔詞文起草委員会委員に

|     |            |     |            |
|-----|------------|-----|------------|
| ３番  | 拝 野 健 さん   | １３番 | 中 澤 史 夫 さん |
| ２２番 | 寺 田 晃 さん   | ２３番 | 早 川 太 郎 さん |
| ２４番 | 富 永 龍 司 さん | ２６番 | 秋 間 洋 さん   |
| ２８番 | 石 塚 猛 さん   | ３１番 | 青 柳 雅 之 さん |

を指名する。

○副議長（岡田勇一郎さん） ただいま朗読のとおり、選任いたします。

これより弔詞文の起草をお願いいたしたいと思いますので、弔詞文起草委員会の起草が終わるまで、暫時休憩いたします。

午後 ２時１０分 休憩

---

午後 ２時１８分 開議

○副議長（岡田勇一郎さん） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

休憩中、弔詞文起草委員会が開会され、弔詞文起草委員会報告書が提出されました。

おはかりいたします。

「弔詞文起草委員会報告書」を本日の追加日程第１として追加し、議題にいたしたいと思っています。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（岡田勇一郎さん） ご異議ないと認めます。よって、本件については、本日の追加

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

日程第1として追加し、議題とすることに決定いたしました。

追加日程第1を議題といたします。

(鈴木事務局長朗読)

追加日程第1 弔詞文起草委員会報告書

1、台東区議会議長石川義弘さんの死去に伴う弔詞議決について

このことについて、本委員会は、慎重起草にあたり、別紙文案を決定した。

上記、報告する。

令和8年7月14日

弔詞文起草委員会委員長 石 塚 猛

台東区議会副議長 岡 田 勇一郎 殿

---

○副議長(岡田勇一郎さん) 本件について、委員長の報告を求めます。

28番石塚猛さん。

(28番石塚 猛さん登壇)

○28番(石塚 猛さん) 起草委員を代表いたしまして、起草の経過をご報告申し上げます。

7月8日、議長、石川義弘さんがご逝去されました。誠に哀悼、痛惜の極みであります。本区議会は石川さんのご逝去を悼み、議決を経て、弔詞を奉呈いたすことになり、弔詞文案の起草を私ども8名の委員をもって構成する起草委員会に付託されたものであります。起草委員会を直ちに開会し、私が委員長に任ぜられました。委員各位と共に、在りし日の石川義弘さんの英姿をしのび、謹んで起草いたしますので、文案を朗読いたします。

本日ここに台東区議会議長、石川義弘さんの葬送に当たり、謹んでお別れの言葉を申し上げます。石川さん、あなたの突然の訃報に接し、言いようのない驚きと悲しみの中で、再びお目にかかれないことを自らの心に言い聞かせるとき、運命のあまりの厳しさに心打ちひしがれる思いであります。顧みますと、あなたは平成19年3月に行われた台東区議会議員選挙において見事当選され、以来5期19年余の長きにわたり、台東区政の進展と、民主的で開かれた議会運営に尽力され、その業績は誠に偉大なものであります。

あなたは不屈の人、確固たる信念、そして、卓抜した実行力や、既存の枠にとらわれない柔軟な発想を持って課題に向き合い、常に地域の発展と住民福祉の向上に心血を注いでこられました。とりわけ医療に関する深い知識を備えておられ、現場の声に耳を傾けながら、保健福祉施策の充実に確かな指針を示してこられました。その卓越した見識と高潔な人柄は多

※正式な会議録が作成されるまでの暫定的なものであり、今後修正されることがあります。

くの議員の模範であり、区民からも厚い信頼と敬愛を集めていました。

また、その広い交友と政治的手腕は衆目の一致して認めるところであり、台東区議会第64代副議長をはじめ、常任委員会委員長、特別委員会委員長など数々の要職を歴任し、令和7年5月に開会された第1回臨時会において、第66代議長に選出されるなど、そのご活躍の足跡は枚挙にいとまがありません。議長就任後も都市交流の推進に心を砕き、国内外の都市との連携を深めることで、本区の魅力発信や交流先との相互発展を目指し、日々取り組んでこられました。

なお、多くの夢と理想を胸に秘めたまま、その歩みが道半ばで途絶えてしまったことは、惜しみても余りあるものがあります。あなたを失ったことは台東区政にとって大きな損失であり、痛惜の極みであります。あなたのご威徳と幾多のご功績は、永久に本区政に携わる者並びに区民の心の中に生き続け、長くたたえられることでありましょう。

申し上げれば限りなく、惜別の情は尽きませんが、ここに謹んで哀悼の意を表し、衷心よりご冥福をお祈り申し上げ、弔詞といたします。

令和8年7月18日、東京都台東区、—————岡田勇一郎。

議員各位におかれましては、何とぞご賛同賜り、委員会報告書どおりご決定いただきますようお願いいたしまして、委員長報告とさせていただきます。

○副議長（岡田勇一郎さん） 以上で、委員長報告は終了いたしました。

おはかりいたします。

弔詞文につきましては、委員長報告のとおり決定いたしたいと思います。これにご異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○副議長（岡田勇一郎さん） ご異議ないと認めます。よって、弔詞文起草委員会の起草の弔詞文は議決されました。

ただいま議決されました弔詞文は、7月18日に行われます告別式において、奉呈いたします。

---

○副議長（岡田勇一郎さん） 以上をもって、日程全部を終了いたしました。

これをもって、本日の会議を閉じ、令和8年第1回台東区議会臨時会を閉会いたします。

午後 2時26分 閉会